

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 6 部門第 2 区分

【発行日】平成23年3月17日(2011.3.17)

【公開番号】特開2008-268908(P2008-268908A)

【公開日】平成20年11月6日(2008.11.6)

【年通号数】公開・登録公報2008-044

【出願番号】特願2008-60359(P2008-60359)

【国際特許分類】

G 0 9 G 3/36 (2006.01)

G 0 9 G 3/20 (2006.01)

G 0 2 F 1/133 (2006.01)

【F I】

G 0 9 G 3/36

G 0 9 G 3/20 6 7 0 J

G 0 9 G 3/20 6 4 1 C

G 0 9 G 3/20 6 2 1 B

G 0 9 G 3/20 6 2 3 L

G 0 9 G 3/20 6 2 3 B

G 0 2 F 1/133 5 5 0

G 0 2 F 1/133 5 2 5

【手続補正書】

【提出日】平成23年1月31日(2011.1.31)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

ビデオ信号をサンプリングする回路と、
互いに異なる電源電圧が供給される複数の配線と、
前記複数の配線の選択を順次切り替えることにより、サンプリングされた前記ビデオ信号の電圧を段階的に変化させて信号線に供給する回路と、を有することを特徴とする表示装置。

【請求項 2】

ビデオ信号をサンプリングする回路と、
第 1 の電源電圧が供給される第 1 の配線と、第 2 の電源電圧が供給される第 2 の配線と、
を少なくとも含む複数の配線と、
前記複数の配線の選択を順次切り替えることにより、サンプリングされた前記ビデオ信号の電圧を段階的に変化させて信号線に供給する回路と、を有し、
前記第 1 の電源電圧と前記第 2 の電源電圧とは、互いに極性が反転していることを特徴とする表示装置。

【請求項 3】

請求項 1 又は請求項 2 において、
トランジスタを有する画素を有し、
前記信号線は、前記トランジスタと電氣的に接続されることを特徴とする表示装置。

【請求項 4】

請求項 3 において、

前記信号線に供給された前記ビデオ信号の電圧は、前記トランジスタのソースまたはドレインに供給されることを特徴とする表示装置。

【請求項 5】

請求項 1 又は請求項 2 において、

トランジスタ及び液晶セルを有する画素を有し、

前記信号線に供給された前記ビデオ信号の電圧は、前記トランジスタを介して前記液晶セルに供給されることを特徴とする表示装置。

【請求項 6】

請求項 1 乃至請求項 5 のいずれか一項において、

前記信号線に供給された電圧の波形は、階段状であることを特徴とする表示装置。

【請求項 7】

請求項 1 乃至請求項 5 のいずれか一項において、

前記信号線に供給された電圧の波形は、放物形状の鈍りを有することを特徴とする表示装置。

【請求項 8】

第 1 の期間において、信号線に供給する第 1 の電圧を段階的に高くし、

第 2 の期間において、前記信号線に供給する第 2 の電圧を段階的に低くし、

前記第 1 の電圧と前記第 2 の電圧とは、互いに極性が反転しており、

前記信号線に供給された前記第 1 の電圧及び前記第 2 の電圧は、画素が有するトランジスタに供給されることを特徴とする表示装置の駆動方法。

【請求項 9】

請求項 8 において、

前記信号線に供給された前記第 1 の電圧又は前記第 2 の電圧の波形は、階段状であることを特徴とする表示装置の駆動方法。

【請求項 10】

請求項 8 において、

前記信号線に供給された前記第 1 の電圧又は前記第 2 の電圧の波形は、放物形状の鈍りを有することを特徴とする表示装置の駆動方法。